

ねりいた
練板ベー通信

2017年5月11日 vol.171
練馬板橋ベーゴマの会
作：夕陽のヤスジ



グレートヒデ初優勝目前 オカマ負けで一発退場!

永世トリアスロン松ちゃん4度目の優勝

それは正にグレートな出来事だった。5月7日(日)晴れ渡る板橋平和公園で起きた珍事だ。

トリアスロン～NIB ベー版～として初お目見えした鉄人レース。決勝は永世の松ちゃんとグレートヒデの戦いだ。グレートヒデは勝てば初タイトル。イッサよりも奥田パパよりも早いタイトル保持者となるどころだった。あ～、しかし……。

「長いぞ～、いい加減に早く始めろ!!」わかりました。では、本題に入ることにいたしましょう。

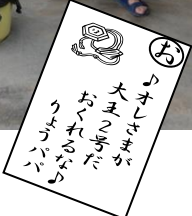


ゆうひ、松ちゃん おめでとう!

決勝シードは鉄人後藤、岩坊、 りょうパパ、マックスの4人

赤中、ペチャ、角六タイプの3種類を使う代わりに、NIB ベー4種類を使うことになったこの大会。今までより予選が1回増える分、さらに体力勝負になる。筆者などは正直、4つ目の『NIB 三文字戦』のころには諦めもあり、遊び半分になってしまったほどだ。

その予選で決勝にシードされたのが、N ベー戦鉄人後藤、I ベー戦岩坊、B ベー戦りょうパパ、そして NIB ベー戦マックスの4人だ。中でも注目となったのがりょうパパだ。今日どんなベーを使うかなってことには頓着しないりょうパパは、用意したベーがない。そこで貸出ベーの登場となるわけだが、何とこのベーがりょうパパにピタリ。6人対戦のうち5人を飛ばしてしまったのだ。『やる～、りょうパパ。カッコいい!』こういうことがあるから借り物は楽しいのだ。借り物大王2号の誕生です。(1号はもちろんハルクだよ)



ヒデさん強豪をメッタ切り！

立ち上がり調子が出なかった松ちゃんだが、いつの間にか6位に浮上すると、決勝トーナメントでは予選11位のとーさん、シードのりょうパパと岩坊を破り4つ目に挑戦だ。一方、8位で予選を通過したヒデさんは、出会い頭にほん魂六角を燕返しで退け、鉄人後藤を虎走りで蹴散らすと、さらにバロンドールのマックスも横雲から、と行きたかったところで“床外し”。これは居合いの技ではないが、ご愛敬だ。気を取り直し腕を一閃すると、横雲から稲妻で2本、これで決勝初挑戦だ。

ドラマはここで起きた！

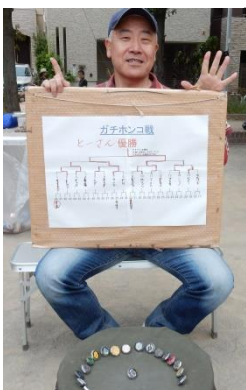
決勝1本目、松ちゃんもヒデさんも指が震える。ヒデさんは分かるけど、何で松ちゃんもなの、あんなに勝ってるのに。両者の指が小刻みに震えベーが揺れて見える。すると、ヒデさんのベーがひっくり返ったではないか。「オカマー、一発退場！」さらに指差し「一発退場〜〜！！」ギャオじいの声が響く。会場はやんややんやの大騒ぎだ。「誰か前にならなかつたっけ？」中Gが聞くが「さあ」ととぼけ、ここは無視だ。いやー楽しい。実に楽しい。これがベーゴマ、これこそ練板ベーだ。それにしてもヒデさん、籠池さんではないけど、事実は小説よりも奇なりであります。正にその通りだね。惜しかったヒデさん、またやってね。

ゆうひベスト8で子ども王をガッチリ

トライアスロンは過酷な戦いだ。大人でも予選突破は至難の業だが、ゆうひが予選を10位で通過、しかも決勝トーナメントでは永世名人ハルクをぶっ飛ばしたのだからすばらしい。準々決勝では、岩坊から1本奪い、あと一歩だった。子どもたちが伸びてきて実にうれしい。ゆうひ、去年のお祭りのときのように、また優勝して構わないぞ！



③
ほったのは松ちゃん
ほられたのはヒデさん
気持ちワライ
ヤスシ



変身とーさんV6！

いつまでも同じとーさんだと思ふなよ。オレももう62。四十にして惑わず、五十にして店名？も知った。(お茶屋だけにな)すでにベー道の何たるかも究めつつあるのよ。松ちゃん、オレがいつまでも床の上をクルクル回すと思わない方がいいよ。

バロンドールは差が広がっただけ

マックスが+3で19ポイント、六角さんが+2で14か。3位の6はそのままだから参ったね。六角さんはホテルで時間があるから、いくらでもベーゴマ作れるし、マックスは秋頃まで海外出張にでも行かないかな。ベーをピカピカにしてる場合じゃなかったよ。ハルクどうした。元気がないぞ。